

平成18年10月5日

森ビル株式会社



2006年度グッドデザイン賞
「表参道ヒルズ」が2部門で受賞

「表参道ヒルズ」は、財団法人日本産業デザイン振興会主催の「2006年度グッドデザイン賞」を、コミュニケーションデザイン部門（ロゴマーク）および建築・環境デザイン部門（建築デザイン）の2部門で受賞いたしました。

◇コミュニケーションデザイン部門

[ロゴマーク]



ロゴマークプロデュース：森ビル株式会社

ロゴマークデザイン：タイクーングラフィックス

コンセプト：

表参道ヒルズのロゴマークは、①表参道の景観や歴史、②「表参道ヒルズ」が誕生し未来に向かっていくイメージ、③世界に向けた日本文化の発信をキーコンセプトにデザインされました。明治神宮の大鳥居とそれにつながる参道、さらに表参道ヒルズの大きな特徴であり、第2の表参道とも言うべき建物内部の“スパイラルスロープ”を表現。また、「参」の文字を囲む楕円は、表参道の頭文字「O（オー）」と、日本の文化的な図像（アイコン）のひとつと言える「ハンコ」の形態を表現したものです。

審査委員コメント：

「表参道という場所性を考慮し、鳥居とからめて、“参”という漢字を造形化したオリジナリティーを評価した。日本の漢字やハンコをベースにしながらも、グローバルに通用するイメージを持たせることに成功している。」

◇建築・環境デザイン部門

[建築デザイン]



事業主 : 神宮前四丁目地区市街地再開発組合

設計／施工 : 安藤忠雄建築研究所・森ビル設計共同企業体／株式会社大林組

コンセプト :

表参道のケヤキ並木との調和に配慮してつくられた「表参道ヒルズ」は、地下空間を有効活用することにより建物の高さを抑え、さらに屋上を緑化することで、表参道のケヤキ並木と融合した緑豊かな空間をつくりだしています。商業空間の吹き抜けを囲むスパイラルスロープは表参道にもう一つの表参道を演出、また人々の記憶に刻まれた景観を次の世代に継承したいという思いから、旧同潤会青山アパートを「同潤館」として再生しています。

審査委員コメント :

「町並みとの調和が考えられており、そこが評価に値する作品であると思います。」

<本件に関するお問合せ先>

森ビル株式会社 広報室 野村、竹内

TEL:03-6406-6606 FAX:03-6406-9306 E-mail:koho@mori.co.jp